

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和7年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市営橋本駅北口第1自転車駐車場他13施設
指定管理者名	相模原市まち・みどり公社、NCD運営共同事業体 (構成団体：公益財団法人相模原市まち・みどり公社、NCD株式会社)
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設設置条例	相模原市営自転車駐車場条例、相模原市営自転車駐車場施行規則
施設の設置目的	駅周辺における自転車及び原動機付自転車の駐車秩序を確立し、自転車及び原動機付自転車を利用する者の利便を図る。
施設概要	橋本駅北口第1自転車駐車場、橋本駅北口第2自転車駐車場、橋本駅南口第1自転車駐車場、橋本駅南口第2自転車駐車場、相模原駅北口自転車駐車場、相模原駅南口自転車駐車場、矢部駅北口自転車駐車場、淵野辺駅南口第1自転車駐車場、淵野辺駅南口第2自転車駐車場、相模大野駅北口自転車駐車場、谷口北口自転車駐車場、谷口南口自転車駐車場、相模大野駅西側自転車駐車場、相武台前駅北口自転車駐車場
施設所管課	都市建設局 道路部 路政課

2 管理実績

項目（単位）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
利用者数合計（人）	8,090,170	8,467,806	8,735,316	8,830,720	8,880,514		
利用料金合計（円）	448,434,190	477,019,980	490,108,360	505,891,540	507,993,550		
利用率（％）	84.2%	89.0%	91.7%	93.0%	94.1%		

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	利用者数は前年度と比べて約5万人増加しており、目標値を超える実績値となった。達成度が100%以上110%未満であることから、A評価とする。

指標1

指標名（単位）	自転車駐車場（14施設合計）の利用率
指標式と指標の説明	利用台数/365日/収容台数×100

項目（単位）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標値（％）	99.6	99.5%	88.0%	89.0%	90.0%	91.0%	92.0%
実績値（％）	84.2	89.0%	91.7%	93.0%	94.1%		
達成度（％）	84.5%	89.4%	104.2%	104.5%	104.6%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	チャイルドシート付自転車等の特殊な自転車の駐車スペース確保など、利用者の利便性向上につながる事業に積極的に取り組んでいる点が評価できる。また、清掃活動への参加等、地域社会へ貢献する取組を行っている点も評価できる。 達成度が100%以上110%未満であるため、A評価とする。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
自転車安全利用パンフレット	通年	自転車の安全利用を促進する「自転車安全利用五原則」に沿ったパンフレットを全施設、通年で配架を実施した。	○
安全点検キャンペーン	10月、1月	神奈川県自転車商協同組合が利用者の自転車を無料で点検し、簡易的な不具合については、その場で修理を行う。例年好評な事業であることから、開催施設を増加し実施した。 【相模大野駅西側】10月22日（水）：34名参加 【橋本駅北口第2】1月20日（火）：52名参加 【矢部駅北口】1月20日（火）：27名参加 令和7年度もブレーキやタイヤの状態について、点検を受けた利用者から好評であった。	◎
街頭での交通安全啓発活動（フリリデー）	11月	【淵野辺駅南口第1、第2】11月5日（水）に朝の通勤時において街頭で安全運転の声掛けを、施設前に立ち実施した。	○
交通安全啓発グッズの配布	4月	桜まつり開催時に反射板等の事故防止グッズを公社ブースにて無料配布した。	○
ホームページによる交通マナー啓発等	通年	自転車駐車場ホームページにおいて、周知（通年）を行った。	○
交通マナー啓発絵画の展示	通年	市内中学生が描いた交通マナー啓発絵画を場内に展示（通年）した。	○
交通マナー啓発のぼり旗の設置	通年	自転車駐車場のフェンスに交通マナー啓発のぼりを立てた（通年）。 【橋本駅北口第1・第2、橋本駅南口第1・第2、矢部駅北口、谷口南口、相模大野駅西側、相武台前駅北口】	○
外部機関による満足度調査分析	3月	専門機関の「特定非営利活動法人自転車政策・計画推進機構」が各施設で現地ヒアリングを行い、調査結果を分析する。3月に実施し、外部機関に委託することで、より細かな分析ができた。	○
雨合羽、ワイヤ錠、防犯ネット、セーフティライト、防犯ブザー等の販売	通年	年間を通じて販売した。（防犯ネット、セーフティライト、防犯ブザーは矢部北、大野西のみ販売） 【令和7年度販売数量】雨合羽：87個、ワイヤ錠：33個、防犯ネット：0個、セーフティライト：4個、防犯ブザー：0個	○
レンタサイクルサービスの充実	通年	電動アシスト付自転車の貸出やレンタサイクル用予約システムを活用し、自転車利用の促進に寄与する。また、安全運転をしていただくため、ヘルメットの貸出も行った。 電動アシスト：相模原南口 レンタサイクル：相模原南口、相模大野北口 ヘルメットの貸出：相模原駅南口 【令和7年度の利用率】相模原（定期）76.9%、相模原（一時）45.1%、大野（定期）73.7%	○
自販機の設置（災害バンダー）	通年	災害救済バンダー付き自動販売機を設置し、災害時には販売飲料を無償で開放し、必要としている方へ提供する。 設置施設は、相模原駅南口（1台）、矢部駅北口（2台）、淵野辺駅南口第1（1台）、淵野辺駅南口第2（1台）、相模大野駅北口（4台）、相模大野駅西側（1台）、相武台前駅北口（1台）、合計11台。	○
宅配ロッカーの設置	通年	インターネットで注文した商品の受取が出来る宅配ロッカーを設置（通年）を継続した。 設置施設は、相模原駅南口（1台）、淵野辺駅南口第2（1台）、相模大野駅北口（1台）、相武台前駅北口（1台）	○

シェアサイクルとの連携	通年	ホームページにシェアサイクルのコミュニティポートの場所がわかるページのリンクを貼り、シェアサイクルの利用促進を図るとともに、市営自転車駐車場2施設（矢部駅北口、相武台前駅北口）にコミュニティポートを設置している。	○
自転車自賠責任保険等の案内	通年	地元自転車商協同組合が実施する自転車安全点検の際に、保険資料の提供や加入相談を行える体制を整え、加入促進を図った。令和6年度は、橋本駅北口第2、矢部駅北口、相模大野駅西側で実施した。	○
外国語の利用案内の掲示	通年	外国語の利用案内を掲示し、外国の方にも安心して利用できるように配慮するため、全施設、通年で実施した。	○
救急用品の常備	通年	全施設でけがや体調を崩されたお客様のために救急用品を常備した。	○
筆談ボードの設置	通年	全施設で筆談ボードを設置（通年）し、ハンディのある方の施設利用をサポートした。	○
ラック利用時の利用サポート	通年	全施設でラックの上げ下げのサポート（通年）を行った。	○
特殊な自転車・バイクへの駐車スペースの確保	通年	特殊な自転車・バイクの駐車スペースを全施設で確保し利用促進を図った。 施設の利用状況に応じ、駐車区画の変更を行った。（実施施設：谷口北口、相模原駅南口、相模大野駅北口（新館）、相武台前駅北口）	○
コインロッカーの設置	通年	相模原駅南口自転車駐車場に手荷物を預けることが出来るコインロッカーを設置（通年）し、利便性の向上を図った。	○
修理業者案内サービス事業	通年	各自転車駐車場周辺の修理業者の情報を、パンク等で困っている利用者へ案内する。全施設、問い合わせに対して通年で案内を実施した。	○
電動式空気入れの提供	通年	全施設で電動式空気入れを設置（通年）して手軽にタイヤの空気圧を調整できるサービスを提供した。	○
みどりいっぱい取り組み	6月～3月	施設を季節の花で彩り、より親しみのある施設とするため、全施設で実施した。	○
献血への呼びかけ運動	随時	日本赤十字社と連携し、橋本及び相模大野で実施している献血のポスターを掲示した。 橋本駅北口第1・第2、相模大野駅西側	○
橋本ベデストリアンデッキの清掃への参加	8月・12月	ミウイ橋本管理組合とともに橋本駅ベデストリアンデッキ周辺の清掃等を実施し、地域の美化に努めた。 8月4日（月）：2名参加、12月26日（金）2人参加	○
橋本七夕まつりへの協力	8月	相模原市等で企画された事業に指定管理者として参加し、地域の美化・防災や福祉に貢献した。 8月1日（金）：7人参加	○
相模川クリーン作戦への参加	6月	相模川の美化活動として相模川を愛する会が主催する「相模川クリーン作戦」に参加し、相模川の美化活動を行った。10月は雨天により中止となった。 6月1日（日）：13名参加	○

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	利用者満足度調査において総合的に満足との回答が97.6%であり、前年度より増加し、引き続き高評価を得ている。また、昨年と比べてもWEBでの回答数も増加している。 達成度が100%以上110%未満のため、A評価とする。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施 時期：令和7年11月7日（金）～11月28日（金） サンプル数：1,603人（うちGoogleフォームでのサンプル数54件）
目標値の基準	総合的な満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0%	90.0%		
実績値（%）	97.4	96.7	94.9	95.2%	97.6%		
達成度（%）	108.2%	107.4%	105.4%	105.8%	108.4%	#DIV/0!	#DIV/0!

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
意見箱の設置	通年	各施設の事務所前に意見箱を設置し、利用者からの意見や要望等を随時受付、対応に努めた。
ホームページのお問い合わせ	通年	自転車駐車場ホームページのお問い合わせフォームにて利用者からの意見や要望等を随時受付、対応に努めた。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	令和7年度において本体事業収支、全体事業収支ともに黒字であるため10点、また、選考委員の意見として、団体本体の経営状況について若干の懸念があると評価をいただいているため5点、合わせて得点が15点となることから、A評価とする。

施設の収支概要	※直近3年間について記載			(千円)
項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
収入 (a)	492,508	505,891	508,046	
指定管理料	0	0	0	
利用料金収入	490,108	505,891	507,994	
その他の収入	2,400	0	52	
支出 (b)	467,710	482,702	487,576	
人件費	112,898	115,841	119,511	
施設管理経費	271,027	282,583	283,820	
本社管理経費	34,253	31,902	35,409	
その他の支出	258	431	553	
納付金	49,274	51,945	48,283	
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	24,798	23,189	20,470	
自主事業収入 (d)	7,299	7,786	7,497	
自主事業支出 (e)	4,658	4,754	4,348	
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	2,641	3,032	3,149	
全体収支 【(c)+(f)】	27,439	26,221	23,619	
備考				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施 (令和7年度分の報告書等を確認)	
実施時期	令和8年2月25日、3月3日、3月5日 報告書：毎月	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	非該当
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

令和7年度の利用率は94.1%となり、令和6年度の利用率93.0%を1.1ポイント上回った。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた利用率の低下以降、毎年度着実に利用率が増加している。

また、指定管理者独自の取組として、令和7年度については、原動機付自転車の規格の変更や後カゴ付きバイクなど、従来のスペースに収まらない車両が増加することを想定し、谷口北口自転車駐車場のバイク置き場の駐車区画の変更を行うなど、利用環境の整備に努めた。

更に、利用満足度調査の回答においては、「安全・安心な施設環境」を望む声が多く寄せられていたことから、相模原駅南口自転車駐車場及び相模大野駅西側自転車駐車場において防犯カメラの修繕を実施することで防犯対策の強化を図った。

今後についても、利用状況に応じた駐車スペースの見直しや、防犯対策の強化を図るほか、施設の老朽化に伴い、利用者が旧式駐輪ラックの使用法を誤り、怪我をする事故が発生していることから、早期の改修に向けて市に働きかけを行い、安全・安心に利用できる施設環境を整えたいと考えている。

10 所管課意見

令和6年度に引き続き、照明設備のLED化を行ない環境に配慮した施設運営を実施した。また、大型化する自転車の駐車スペース確保のための施設レイアウト変更や老朽化した自転車ラックの交換など利用者の要望や利用状況に応じた改善を行った点も評価できる。令和6年度はレイアウト変更を行った自転車駐車場は1箇所だったが、令和7年度は4箇所の自転車駐車場でレイアウト変更が行われ、利用者の利便性の向上につながった。

利用者満足度調査において「満足」「やや満足」の合計が97.6%と高評価をいただいた点は、利用者のニーズに合った適切な施設運営に努めた結果であると評価する。

以上のことから総合的に判断して、指定管理業務は良好に履行されていると評価できる。令和8年度以降についても、引き続き利用者から選ばれる自転車駐車場となるよう、サービスの維持や利便性の向上に継続して取り組んでもらいたい。

11 選考委員会意見

自転車駐車場の指定管理運営については概ね良好に履行されているといえる。

成果指標については、目標値を達成することができていた。利用者数が年々増加しているのは、利用者のニーズに合わせた柔軟な事業展開により、利用しやすい施設運営に継続して取り組んでいた結果と思われる。

施設の設備改善としては、令和6年度から継続して照明器具のLED化に取り組んでいることや、大型化する自転車やバイクの駐車スペースを確保するため、駐車スペースの見直しやラックの取り外しを行う等、より利用者が便利に利用できるよう改善を行っていることが評価できる。

事業の実施状況については、安全点検キャンペーンを実施し、参加者から高評価を受けた点や、清掃活動を通じ地域社会に貢献している点が評価できる。管理業務の履行状況については、履行管理チェックシートを基に市が現地調査を実施した結果、概ね適正に処理されていることが確認できた。

利用者の満足度については、年々増加しており、高い達成度を維持継続している。引き続き、安全面の充実に向けた取組と、施設を安心して利用していただくために利用者へ寄り添った取組をバランスよく提供できるよう、更なる創意工夫に励んでいただきたい。

総合評価（自動判定）

A

(75/100)

